



## クラゲは、どうして人<sup>ひと</sup>をさすの

### クラゲの武器<sup>ぶき</sup>は、毒針<sup>どくばり</sup>

クラゲは、ふわふわと<sup>みず なか</sup>水の中を、ただよって<sup>い</sup>生きています。えさは、<sup>ちい</sup>小さいプランクトンなどです。すばやく<sup>うご まわ</sup>動き回るものを、クラゲが追いかけて、とらえるなどということは、ほとんどできません。クラゲは、ただよってくるえさが、<sup>くち はい</sup>口に入ったら<sup>た</sup>食べるという<sup>せいかつ</sup>生活です。

### 近<sup>ちか</sup>づく獲物<sup>えもの</sup>には、毒針<sup>どくばり</sup>をつきさす

しかし、<sup>じぶん からだ</sup>自分の体の<sup>ちか</sup>近くに<sup>こぎかな</sup>小魚のような<sup>えもの</sup>獲物がきたら、うでをのばして、<sup>どくばり</sup>毒針をつきさし、<sup>どく よわ</sup>毒で弱った<sup>えもの</sup>獲物をとらえて<sup>た</sup>食べます。クラゲのかさの<sup>した</sup>ふちや、<sup>さ</sup>下にぶら下がっている<sup>あし</sup>足のようなものには、<sup>しよくしゆ</sup>触手がついています。触手<sup>しよくしゆ</sup>には、<sup>なに</sup>何か<sup>どく はい</sup>がふれたとたんに、<sup>はり と</sup>毒が入った針が<sup>た</sup>飛び出すようになった、<sup>ちゅうしやき</sup>ふたのある注射器のようなものが、たくさんついています。

### 何回<sup>なんかい</sup>もさされると、とても<sup>きけん</sup>危険

たまたま、クラゲが<sup>ちか</sup>近くに<sup>き</sup>いるのに<sup>き</sup>気づかずに、<sup>にんげん からだ</sup>人間の体が、クラゲのうでにさわったりすると、この<sup>どくばり</sup>毒針がつきささり、<sup>ところ あか</sup>さわられた所は赤くはれあがり、<sup>いた おも</sup>痛い思いをしなければなりません。同じ<sup>おな しゆるい</sup>種類のクラゲに<sup>なんかい</sup>何回もさわると、<sup>かいすう ふ</sup>回数が増えるほど、<sup>からだ どく つよ かん</sup>体が毒を強く感じるようになり、<sup>し</sup>ショック死することもあります。海に行ったときは、クラゲには、<sup>うみ い</sup>注意<sup>ちゅうい</sup>しましょう。（監修・安部 義孝）

